



堺市における中小企業の活性化と生産性の向上をめざして



DATA

■主な連携先・メンバー

堺市役所／堺商工会議所／株式会社さかい新事業創造センター／三嶋商事株式会社／株式会社ゆびすいコンサルティング／株式会社日本政策金融公庫堺支店／人を大切にする経営学会関西支部／公認会計士 米山高志氏／阪南大学経営情報学部教授 吉城唯史氏／公認会計士・関西大学会計専門職大学院特任教授 玉置栄一／関西大学商学研究科博士課程院生 張宏武

■活動地域

大阪府堺市

■活動期間

2018年度～継続中

■活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業



活動の目的

中小企業の活性化と生産性向上のための施策を探求・提案する



連携にいたる経緯

事業代表者の水野は、これまで日本管理会計学会や中小企業会計学会におけるスタディ・グループなどで中小企業の現状や課題などについて研究プロジェクトを組織し、調査研究を実施してきた。そうした研究成果を基礎に、会計学の専門家(笹倉)と中小企業の経営指導と豊富な経験を有する公認会計士(玉置氏、米山氏)、および堺市の現状に詳しい地元の研究者(吉城氏)の協力を得て、堺市の関係機関と連携しながら、中小企業の活性化と生産性向上のための施策を探求し、連続講演やシンポジウムの開催を通して提案することとなった。



活動内容

2017年度の堺市の統計や中小企業へのインタビュー調査結果を踏まえ、連携メンバーで堺市の現状を研究、議論を重ねた。そこから2018年度においては、まず連続講座として2018年11月に堺市との関わりを考慮した関西大学の就職・就活の現状に関する講演会、そして12月に「中小企業金融とクラウドファンディング」というテーマで講演会を実施。その後、連続講演会の締めくくりとして第1回堺市中小企業フォーラムを2019年2月に開催し、基調講演およびパネルディスカッションを実施した。

2019年度においても、前年度の中小企業インタビューを踏まえたさらなる研究調査を行い、2020年1月に第2回堺市中小企業フォーラムを開催。参加者に中小企業の経営者が多かったことから、大変盛況であった。



活動の成果

- 1 関西大学の就職・就活の現状およびクラウドファンディングに関する連続講演会の開催
- 2 堺市の特色ある中小企業のインタビュー調査とその紹介
- 3 著名な基調講演者を迎えて堺市中小企業フォーラムを2018年度と2019年度に開催



今後の課題・目標

- 1 堺市の中小企業に対する新型コロナウイルス感染症の影響調査
- 2 堺市の中小企業の事業承継についての調査
- 3 連続講演会やフォーラムに、より多くの参加者を募るための広報手段の検討

教員紹介



■商学部 教授

水野 一郎
Ichiro Mizuno

専門は会計学・管理会計論。中国の企業会計や中小企業の管理会計についての共同研究を実施してきたが、最近では渋沢栄一の「道徳経済合一説」や「論語と算盤」に関心をもち、SDGsや人本主義的管理会計を探究している。



■商学部 教授

笹倉 淳史
Atsushi Sasakura

専門は会計学・財務会計論。イギリスの会計制度、国際的な会計の統合を中心に研究を進めてきたが、最近では、コーポレートガバナンスと財務報告の関係や中小企業の会計の研究に取り組んでいる。